

ウツデイ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：林産試験場



トドマツ利用拡大の取り組み
—企業間の連携を基盤として—

ウッドエイジ

木材の研究と普及
第68巻・通巻790号

目次

トドマツ利用拡大の取り組み ー企業間の連携を基盤としてー ……………	1
ものづくりのための「品質管理」入門編 ④ ……………	4

●特集『平成31年森づくり研究成果発表会』パートII	
※木質バイオマス発電の経済性評価 ……………	8
※木質燃焼灰は融雪資材として使えるか? ……………	9
※林地に放置された丸太の燃料品質を調べました ……………	10
※防腐薬剤処理木材の耐用年数は何年なの? ……………	11
※銅を利用した塗装木材の耐候性向上処理の検討 ……………	12
※屋外用途での木製品の需要拡大に向けた アセチル化木材による高耐久木製品の試作 ……………	13

※人口減少時代における持続可能な森林経営 ～資源、施業、利用の視点における北海道の課題～(資源編その2) ……	14
※行政の窓 〔北海道植樹の日・育樹の日制定記念 「北海道・木育(もくいく)フェスタ2019)〕 ……………	19
※林産試ニュース ……………	20

※：林産試日より2019年6月号からの転載
(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場 承諾



Hokkaido CLT Pavilion 旭川市西神楽

林産試験場は、平成31年3月に北海道産材CLTによる性能評価実験棟「Hokkaido CLT Pavilion」を構内に建設しました。

本実験棟は、CLTの特徴を活かして、従来の木造では得られない開放的でダイナミックなデザインを実現しています。

表紙の写真は、CLTの材料特性を活かして、2.5mもはね出させた庇の様子です。